



谷田部 一之

愛する狛江、未来のために(パート4)

問 ①現在80%の進捗状況である日本一安心で安全なまちづくりの実現のために残り20%何が必要か。

②市内防犯カメラの数は。③前市政からどのくらい犯罪が減少したか。

④狛江市の玄関とも言える狛江駅周辺の美化推進は。

⑤狛江駅南北通行道路に点字ブロックの設置を。

⑥これから新しく狛江に転居してきた人たちにいかに安心、安全なまちをPRしていくことが課題だが。

答 ①さまざまな工夫を凝らし顔と顔の見える関係の構築をさらに努めていく必要がある。

②平成28年3月末までに83基。

③平成23年と比較して平成27年は196件、約30%減少。

④たばこのポイ捨て等の減少により景観は比較的保たれていると認識。

⑤障がい者団体と連携していきたい。

⑥防災・防犯ガイド、安心安全情報メールなど転入時に周知。



篠 浩司

保育環境の充実について

問 ①待機児解消に向けた施設整備について。②認可外保育利用者支援について。③公立保育園民営化の進捗状況について。④保育園と学童利用の時間差について。⑤学童クラブ整備の今後について。

答 ①新年度、152名の定員増。29年度は前倒しで整備。②補助増額、対象施設拡充。③4月に宮前の民営化園を開園。和泉は移行計画作成中。④現実的に可能な方法を検討。⑤新設児童館に設置予定。

見守り活動について

問 ①犯罪抑止への取り組みは。②子どもの見守りについて。③夏休み等長期休業の地域センター図書室開室延長について。④高齢者の見守りについて。⑤ながら見守り事業について。⑥各部署の連携はどうなっているか。

答 ①見守り・青色パトロール、防犯カメラの設置の目による対応。③午前中の開室を検討。④地域住民主体の何気ない見守り。⑤郵便局、信用金庫協会等による活動。⑥防犯以外にも連携。

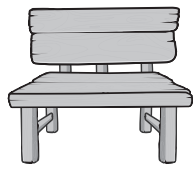


栗山 剛

まちづくりについて

問 ①東京都における都市計画の整備方針第四次事業化計画(案)発表を受けて、今後水道道路の整備がどうなるか。②市内公園にトイレが無くてお困りの方がいらしゃいます。既存公園へのトイレ新設は可能か。③高齢者の方に親切なまちづくりのために、公園は猛暑日にゆっくり休める施設は可能か。④歩行者に安全なグリーンベルト表示、今後の予定について。⑤小中学校の改修工事にて、トイレ洋式化予定について。

答 ①今回選定された路線は、今後10年間で優先的に整備。②衛生面や安全面等様々な条件を十分に勘案して検討する必要がある。③利用状況やスペースの確保など様々な点を勘案して検討すべき課題だと認識。④通学路を中心に優先順位を設定して今後も積極的に実施していきたい。⑤平成28年度に第一小学校を予定。



鈴木 えつお

新たな用地を確保して障がい者施設の建設を

問 ぼかぼか広場の裁判で、30年前の石井市政の建築基準法に反する行為が問題になっている。基金を吐き出してでも作るという市長の決意を、新たな用地を確保してつくる、この方向で生かしてほしい。

答 係争中なので発言は控えたい。手をたたく親の会では、障がい者団体の皆さんが期待しておられるこの施設については、不転の覚悟で取り組むという決意を申し上げたものである。

地域センター図書室の午前中からの開室を

問 「地域センターの図書室で、子どもに本の読み聞かせをしてあげたいが、午後はお昼寝の時間なので午前中から開けてほしい」との要望が寄せられた。PTAからも要望がある。ぜひ午前中からの開室を。

答 子供の居場所づくりの一環として各地域センター運営協議会と調整し試行的に学校の夏休み等長期休みの間、午前中からの開室について検討。



石井 功

人口減少と今後の狛江のまちづくり

問 ①東京都の中ですでに人口減少に陥っている自治体はどれだけあるのか。②人口の具体的な目標2060年6万6000人とあるが、この人口密度は現在の自治体に置き換えると。

答 ①平成22年と27年の国勢調査比較によると、多摩26市では八王子、立川、青梅、昭島、東村山、国立、福生、多摩、羽村の9市が減少。②現在の小金井、国分寺、調布の人口密度と近くなる。

市長公約の実現について(都立公園、水道道路)

問 ①都市計画決定はあくまで事業の範囲などを決めるものであって、実際の事業化は別途段階的に事業認可を取得し進めるといふことか。②東京都の優先整備路線として示された都市計画道路とその距離は。

答 ①都市計画決定された範囲で段階的に事業認可を取得し整備。②調布都市計画道路3・4・2号線1590m、調布都市計画道路3・4・4号線外470m、調布都市計画道路3・4・16号線1220m。



三角 武久

多摩川活用進捗状況

問 ①ドッグランを多摩川に整備する活用方法の提案に対しての進捗状況。②ドッグラン設置効果並びにドッグランを広域避難場所にも活用できるのでは。③大規模救出拠点としてのヘリポート整備進捗状況。

答 ①国土交通省との協議を進めていく予定。②避難場所が増え有効な活用が図られると認識。③京浜河川事務所との調整が終わり、都と大規模救出救助活動拠点として告示の意見照会を交わした。

岩戸地域の安心安全

問 ①交通安全事故対策の基本戦略。②地域住民・関係機関との合同現地点検実施について。③二の橋交差点喜多見駅方面進入の道路整備の推進。④空き家対策についての狛江市の取り組み。⑤農業公園づくりについて。

答 ①歩行者の安全確保、自動車の速度規制を基本対策。②警視庁との設計協議を踏まえ検討。③全体計画の中で優先順位を検討。④庁内連携推進会議を設置。⑤農業や農地に対する理解を深める意味で重要。



田中 智子

市民センターの増大から

問 ①「市民の会」の増大が発表された。市長の受け止めは。②様々な議論を通して提案された内容を市として受け止めるべき。③協定書通り会の提案を尊重し市の計画策定を。④今後の市民協働について。

答 ①この1年間精力的に活動いただいた。②必要な財源等もふまえて十分な精査が必要。③現段階では協定書がベースになると考える。④会と協働しつつより広範な市民の意見も聞きながら作成していきたい。

多摩川住宅周辺のまちづくりについて

問 ①多摩川住宅のスーパードッグランについて市の認識と対応。②買い物難民を生まないために公社や商工会へ働きかけを。③建てかえ問題で長期優良住宅はコストが上がり負担が増える。不安の声にどう対応すべき。

答 ①調布市内事業者との共有が必要と認識。調布市と連携し商工会と相談等対応。②引き続き調整。③引き続き必要な説明を実施。長く活用できる住宅を形成することを住民と共に目指したい。



岡村 しん

市民とともにつくる都市計画を

問 ①都市計画道路はいつ策定の計画か。②狛江市で必要性的判断をしたか。③都市マスの意義に沿って、市民参加で路線ごとに精査し、必要がない時は、廃止を含めて意見を出すべきでないか。④矢野市政前と後の整備率は。⑤岩戸北、東野川を抜ける本町通りの延伸は、何棟に影響があるか。⑥市民団体が廃止を提案している路線が入った理由は。⑦71棟も田谷通りから調布方面への道路が4本も必要か。

答 ①昭和37年12月22日に全路線の都市計画道路について必要と判断。③1本の道路で考えるのではなく、ネットワークで考えるのが道路整備であり、十分な検証を行っている。④1995年は19.1%、2012年は51.6%。⑤東京都施工のため調査把握していない。⑥補助125号線との接続を優先。⑦必要と認識。

他に、待機児対策のため保育所増設計画の前倒しと、奨学金制度の充実について質問。